日本語学習ボランティア講座 通信②

平成 28(2016)年 10 月 4 日(火)10:00~12:00

一週間があっという間に過ぎて、2 回目の開催となりました。
前回の地域日本語教室の理念やあり方、ボランティアとして必要なことなどのお話を根底にもちながら、活動に活かしていくお話のスタートです。
今回のテーマは、『**外国語として日本語を見てみよう！さまざまな面から見た日本語の特徴～**』。私たちにとっては当たり前に使っている日本語について、じっくり考えてみる機会となりました。

講師　澤田幸子さん
(一般財団法人海外産業人材育成協会)

特徴その①　文字の種類が多い

カタカナ・ひらがな・アルファベット・漢字　…多くの種類を同時に使うこともある

その字に見えるために必要なことは最低限伝えよう☆

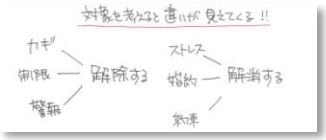
手本があれば書けるかもしれないけど…、一つの文字がどこまでかとか、読める為の許容範囲がわからない(>o<;)

- 表音文字(ひらがな・カナカナ)と表意文字(漢字)を混ぜて使う国もめずらしい
- カタカナ表記は約束事でしかない。音・外国から来た言葉だけとは限らず、印象づけるためにカタカナを使う事などもある
- 英語圏にはローマ字表記を使えばと思われるかもしれないが、意外に統一性がなく、むずかしい　便宜上使う場合は教室で統一しておく方が良い
- ひらがな表記は、発音に準じているとは限らない
- 漢字…"造語力"がある
  表意文字(＝漢字をみれば意味がある程度わかる)

漢字の意味を覚えていくことが大事☆

特徴その②　言葉(語彙)の数が多い

- 例えば、英語で"I"と表す語が、日本語では、わたし、わたくし、ぼく、おれ、うち、自分など多様な言い方があり使い分けている
- 場面・相手によっての語の使い分け
  例)『あの女…』というとあまりいい意味で捉えられない
  女性・女の人・女の子
- 語種(漢語・和語、外来語など)の使い分け
- 類義語が多い　例)



学習者の方には、文化情報を含め、使わない方が良い場合などをまずは伝えよう!!

学習者の方には、違いを伝えよう!!典型的な例を考えよう☆

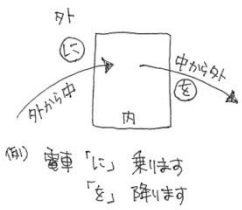
- 漢字を覚えることで、組み合わせによって、何万語も理解することができる

地域日本語教室では、楽しく漢字の学習ができると良いですね♪

特徴その③　文法

- 主な文は３種類（名詞文・形容詞文・動詞文）
- 形容詞と動詞は形が変わる
- 日本語の文は、後ろにくっついていく文づくり
- 日本語の「―た」の文は、完了を表わす(過去も含む)
- 形容詞の変化は、間違えてもしかたがないくらい難しい
  名詞文では、"ない"に"です"は使わないが、形容詞文には、"ない・です"があり得る
- 「な形容詞（＝形容動詞)」「い形容詞」がある
  名詞のように見えて、「な形容詞」もある
  例）(同じような言葉でも)　元気・呑気…な形容詞／病気・勇気…名詞
  ※なをつけてみると分かる
- 助詞は説明が難しい
- 助詞にはルールがある

「――へ」…　行ったり来たり(移動)する先(方向)
「――で」…　動作をする場所("どこ")
「――に」…　「あります」「います」につながる
存在("どこ")



形容詞はややこしい。な形容詞とい形容詞があること、見分け方、使い方を伝えよう☆

助詞はこう言う時はこのルールと言い切って伝えよう

形容詞はややこしい。な形容詞とい形容詞があること、見分け方、使い方を伝えよう☆

特徴その④　言葉の運用

- 日本人でも"敬語"は難しい
  ※種類も含め、言葉を覚えてもどんな場面で使うのかが難しい
- 待遇表現に配慮した言葉
  相手の立場によって呼び名が変わる
  ※自分より上の人に「あなた」は使わない方が良い

◆ねぎらう、褒める
◆能力・意思・願望
◆恩恵を与える・受ける

目上の人には、使わない場面が多い

- 日本語では主語が「わたし」の場合、あえて言わない事が多い
- 「あなた」も会話の中では使わない

特徴その⑤
文化・習慣とのつながり

- 例えば、日本には雨を表す言葉がたくさんある、これらは日本が雨がよく降る気候だからこそ
- 婉曲的な表現
  例)
  ちょっと…　⇒曖昧に濁した伝え方
  よくないんじゃない　⇒二重にすることで言葉を強めたり,やわらげたり
- 結果描写が多い
  「ドアが閉まります」←「ドアを閉めます」とは言わない
- 「先日はありがとうございました」
  →次に会った時にお礼を言う習慣
- 「つまらないものですが…」
- 「お茶がはいりましたよ」←「お茶をいれましたよ」とは言わない、"私"がした点をあまり主張しない言い方

日本人の気質や習慣、文化による言葉の使い方があることを意識してみよう

ネイティブスピーカー（日本人）が日本語を教える時に大事なこと

●日本語に対しての”直感”を持っている事を強みとしていかそう
　但し、人によって違うこともあるという曖昧さがあることも意識しておこう

●正しい知識を増やしつつ、日本語の直感を磨いていこう

学習者の方に**日本語って面白い**って思ってもらえるためにも

ボランティアとして関わる人も
　自分の頭で考え、日本語を観察しましょう☆
　日本語を学ぶ人の視点から日本語を見てみましょう☆

第２回目(10 月４日)の参加者ふりかえり

・面白く、分かりやすくよかったです。
・日本語の特徴について、幅広く具体的に説明していただき、とても参考になりました。
・日本語文法、例外、表現法、自分に自然に身に付いていても、外国人は体系的に学ぶ必要を強く感じました。日本語は例外の多い事に対する配慮が必要。（5 分休憩を）
・形容詞・形容動詞の使い方が難しいのがよくわかりました。文法で忘れていることがおさらいできてよかったです。物のとらえ方「つまらないものですが…」は以前 TV でも議論していました。「つまらないものをどうして、渡すんだ」というような内容でした。中国人で怒っていたのがすごく印象的でした。（日付ミスプリでした。10/11 になっていました）
・外国人から日本語を見た日本語のむずかしさを改めて考え直す機会になりました。文化、気候、背景に違いにも気を配る大切さも学びました。相手が時と場合で日本ではこうだと情報としては伝えることは必要だが、それ以上を相手にそうすることを求めるものではなく、相手の判断にゆだねることの大切さを学ばせて頂きました。ありがとうございました。
・日本語のむずかしさをはじめて知りました。特に文法を勉強しようと思っています。小学生の漢字の本を持っています。広げます。このような者（私）が日本語のボランティアができるのか心配。
・日本語の複雑さ、あいまいさがよくわかりました。
・何げなく使っている日本語の多様性がよくわかり又、説明するには、むずかしい言語だと感じた。
・学習者にとって日本語という言語がとてもむずかしいことがわかりました。日本人にとってもややこしい言葉がたくさんあることもわかり、だからこそ一緒に学んでいく楽しさがあるのだろうと思います。
・日本語に興味を持ち、多様性、習慣づけを多く持てる様…
・『日本人の知らない日本語』から読み始めようと思いました。ガンダムの主人公に「アーシタ・ジュドー」というキャラクターがいまして、なくはないのか？と。雨の話と言えば、鈴木孝夫先生ですね。
・とても興味深かったです。もともと日本語に興味があったので、楽しく聞きました。先生の説明がとてもわかりやすいです。（おたよりをだしていただいて感心します。ありがとうございます）
・日常的にあたりまえに使う日本語が外国人にとっては難解な場面があると、あらためて気付かされました。先生のユーモアあふれる講義がわかりやすかったです。
・日本語の文法を久しぶりに学びましたが、本当に難しかったです。日本語について、改めて気付かされる事が多かったし、日本語はおもしろいと思いました。
・普段自分が使っている日本語がいかにあいまいであるか、わかりました。日本語再発見!!です。
・日本語って難しいと外国の人が言うのが、とてもよく分かる。先生の今までのご経験から色んな話が聞けて楽しいし、知識なるのでうれしい。次も楽しみです。
・日本語って面白い。複雑。日常の会話で観察してみたいと思います。
・今回のもとっても楽しく興味深かったです。日本人のあいまいな表現はこうして見てみると、とってもおもしろく、又、美しいと感じました。
・「外国語として日本語を見る」外国人にとって、日本語のどこがむずかしいのかが、よく分かりました。これから教える際にとても参考になりました。今日も楽しくあっという間に時間が過ぎました。ありがとうございました。
・先生から投げかけられる質問に答えられないことに、日本語を全然、理解していないのだと実感しました。言葉のニュアンスを伝えるには､“使わない例”を示すことも大切だと分かりました。
・日本語の細かい文法のことを教えて頂けてとても勉強になりました。
・澤田先生のお話はとてもたのしくて、あらためて、日本語を学ぶたのしさをしりました。私も教えられました。ありがとうございました。次回のお話も楽しみにしています。
・日頃何気なく使っている日本語ですが、状況によって無意識に使い分けていることに改めて気付きました。あたりまえと思っていることを説明することは、とても大変だと思いました。
・ボランティアはネイティブスピーカーとして言葉の意味だけでなく、使い方も、直感をたよりに伝えていけるようにしないといけないと思いました。「な形容詞」「い形容詞」「助詞」の使い分けなどむずかしいですね。

《詫びと訂正》
通信①でお伝えした文さんの娘さんが映画監督された作品のタイトルは『**愛しきトラヂ**』でした。申し訳ありません。ご訂正ください。